



## 1 異常気象を乗り越える

### ☀️暖冬予報の場合

適期に播種をしても大苗になり、寒害を受けやすく、抽苔もしやすい

#### 【対策】

播種日を5～10日遅らせる  
耐病性のある品種や早晩生の遅い品種を選ぶ

### ❄️寒波がくる予報の場合

生育も収穫も遅れる

#### 【対策】

播種は5～10日早める(ただしソラマメ、エンドウ除く)  
※注意※ ただし、多肥にすると暖冬と同様、生育がよくなり寒害を受けやすく、抽苔しやすくなる(特にマメの仲間は注意)  
低温に強い品種を選ぶ。

#### 【寒波が来る!】

敷きわらやマルチをして地温を上げて根傷みを防ぐ、ベタがけをして茎葉を保護する、追肥回数を増やす

暖冬になるか、寒波かくるかは**長期予報**を参考に!



### 【参考】北陸地方の3カ月予報(9～11月までの天候見通し) 令和元年8月23日 新潟地方気象台発表

この期間の**平均気温は、高い確率50%**です。

9月:天気は数日の周期で変わるとでしょう。**気温は、高い確率50%**です。

10月:天気は数日の周期で変わるとでしょう。**気温は、高い確率50%**です。

11月:平年と同様に**曇りや雨の日が多い**でしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

気温が高く推移する予想なので生育の進みすぎ、害虫の発生に注意

## 2 今月の生産者(No. 7)

養液栽培は1棟のみで中心は土耕栽培です。ハウスではミニトマトとほうれんそうで輪作されています。

「顔見え」は小規模農家でも出荷できるので、助かります

全農が進めている養液栽培「ういずOne」を能登でいち早く導入されました

丁寧な管理で病害虫はほとんど発生していません

**木下 和男さん**  
(輪島市町野町寺地)

### ～木下さん流の顔見えのコツ～

#### (1) 栽培品目をミニトマト、アスパラガス、ほうれんそう、原木しいたけに絞っている

- 少ない品目だからこそ、目が行き届き、**こまめな管理**ができます。
- これらの品目は**出荷期間が長い**ため、中卸業者からも覚えてもらうことができます。

#### (2) 品目選定は共販品目が前提

- 1人で栽培をしているため、JAの共販であることが前提で品目を決めました。
- **共販の開始前、終了後、小ぶりで形が揃っているもの**などは袋やパックに詰めて顔見えに出荷しています。

#### (3) 大規模農家から学ぶ

- 栽培については、**ベテラン大規模農家に通って学ん**でいます。学んだ技術をそのまま使うのではなく、自分のほ場に合わせて**アレンジ**しています。
- 常にアンテナを張って、新しい情報を入手しています。

### ◎お問い合わせはお近くの農協まで◎

JAおおぞら本店	52-3813	JA内浦町	72-2678	JAすずし中央支店	82-6400
// 輪島支店	23-1220	JAすずし営農経済センター		// 宝立支店	84-1311
// 穴水支店	52-1172		82-7505		
// 門前支店	42-0514	// 西海支店	87-2014		
// 能都支店	62-2130	// 日置支店	86-2211	奥能登農林総合事務所	26-2323
// 柳田支店	76-1236	// 三崎支店	88-2041	珠洲農林事務所	82-3113
// 町野支店	32-1107	// 正院支店	82-0409		